

久留米大学では、他施設と共同で実施する下記研究のために、受診時に患者さんから取得された診療情報等を共同研究機関に提供しています。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】未破裂脳動静脈奇形の手術適応と予後に関する全国実態調査

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者（情報の管理責任者）】

研究代表機関（研究代表者）：奈良県立医科大学医学部脳神経外科 教授 中瀬裕之

診療情報等の提供先：奈良県立医科大学 脳神経外科

【研究分担施設・研究責任者】

- ・奈良県立医科大学医学部脳神経外科 准教授 中川一郎、その他約 100 施設の予定

【診療情報の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間：西暦 2014 年 1 月 1 日から西暦 2018 年 12 月 31 日の間に受診
- 2) 受診科：久留米大学病院脳神経外科
- 3) 対象疾患名：未破裂脳動静脈奇形に対して外科治療が行われた方

【診療情報等の項目】

診療情報等：

＜ベースライン（術前）＞

- 1) 患者基本情報：年齢、性別、家族歴（脳動静脈奇形（AVM）の有無）、既往歴（高血圧、糖尿病、遺伝性疾患（遺伝性出血性末梢血管拡張症、その他）の有無）、喫煙歴、飲酒歴
- 2) 症状：頭痛、けいれん、巣症状、その他症状、術前の神経所見
- 3) AVM 状態：局在、最大径、導出静脈数（静脈の走行のタイプ）、タイプ（compact、diffuse）

＜術前治療＞ 術前治療：AVM に対する塞栓術（閉塞血管、塞栓物質）、放射線照射（照射の種類、線量（Gy）、術前治療実施日

＜外科的治療＞ 手術年月日

＜術後＞

- 1) 合併症：梗塞、出血、合併症発生日
- 2) 血管造影：撮影年月日、結果（完全閉塞、残存あり）
- 3) 退院時（もしくは術後3カ月時）神経所見

授受の方法： 郵送・宅配 電子的配信 直接手渡し その他（ ）

【研究目的】

上記の診療情報を使用し、現在の未破裂脳動静脈奇形の治療適応および治療成績の実態を明らかにし、今後の治療指針に資するデータを提供することを目的とします。この解析により良い治療法を明らかにします。

【研究（利用）期間】久留米大学倫理委員会承認後から西暦 2020 年 6 月 30 日まで

研究番号 19200

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

【問い合わせ先】

(本学) 研究責任者：久留米大学医学部脳神経外科講座 主任教授 森岡基浩

問い合わせ担当者：久留米大学医学部脳神経外科講座 講師 河野隆幸

電話: 0942-3 1-7570

E-mail: kawano_takayuki@med.kurume-u.ac.jp